

令和3年10月6日 低コスト林業及び労働安全等現地検討会

今年度の生産事業箇所(酒田市)において、労働基準監督署安全衛生課長より林業における労働災害の発生状況や傾向に係る安全指導を受けたのち、「機械地拵」と「大苗」を導入した一貫作業現場での取組を紹介しました。

当日は、労働基準監督署、県、関係市町、森林組合、林業事業体等、約50名が参加し、枝条量の異なる地拵箇所で、スギ大苗のコンテナ植栽を体験しました。

機械地拵(枝条整理)の程度が、苗木の成長に与える影響や今後の保育作業(下刈)に及ぼす作業効率の相違、あるいは大苗植栽における下刈省力化に向けた検討を東北局全体で進めていくことについて説明しました。

